

1 各学年・各分野の学習目標

- (1) 正の数と負の数、文字を用いた式と1元1次方程式、平面図形と空間図形、比例と反比例、データの分布と確率などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数理的に捉えたり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
- (2) 数の範囲を拡張し、数の性質や計算について考察したり、文字を用いて数量の関係や法則などを考察したりする力、図形の構成要素や構成の仕方に着目し、図形の性質や関係を直観的に捉え論理的に考察する力、数量の変化や対応に着目して関数関係を見だし、その特徴を表、式、グラフなどで考察する力、データの分布に着目し、その傾向を読み取り批判的に考察して判断したり、不確定な事象の起こりやすさについて考察したりする力を養う。
- (3) 数学的活動の楽しさや数学のよさに気付いて粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って検討しようとする態度、多面的に捉え考えようとする態度を養う。

2 指導内容および評価規準

(1) 正の数と負の数

月	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 正の数と負の数の必要性和意味を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 算数で学習した数の四則計算と関連付けて、正の数と負の数の四則計算の方法を考察し表現することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 正の数と負の数のよさに気付いて粘り強く考え、正の数と負の数について学んだことを生活や学習に生かそうとしたり、正の数と負の数を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしていたりしている。
5	<ul style="list-style-type: none"> ・ 正の数と負の数の四則計算をすることができる。 ・ 具体的な場面で正の数と負の数を用いて表したり処理したりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 正の数と負の数を具体的な場面で活用することができる。 	

(2) 文字を用いた式

月	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
6	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文字を用いることの必要性和意味を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 具体的な場面と関連付けて、一次式の加法と減法の計算の方法を考察し表現することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文字を用いることのよさに気付いて粘り強く考え、文字を用いた式について学んだことを生活や学習に生かそうとしたり、文字を用いた式を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしていたりしている。
7	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文字を用いた式における乗法と除法の表し方を知っている。 ・ 簡単な一次式の加法と減法の計算をすることができる。 ・ 数量の関係や法則などを文字を用いた式に表すことができることを理解している。 ・ 数量の関係や法則などを文字を用いた式に表すことができることを理解し、式を用いて表したり読み取ったりすることができる。 		

(3) 1元1次方程式

月	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
9	<ul style="list-style-type: none"> ・ 方程式の必要性和意味及び方程式の中の文字や解の意味を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 等式の性質を基にして、一元一次方程式を解く方法を考察し表現することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一元一次方程式のよさに気付いて粘り強く考え、一元一次方程式について学んだことを生活や学習に生かそうとしたり、一元一次方程式を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしていたりしている。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 簡単な一元一次方程式を解くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一元一次方程式を具体的な場面で活用することができる。 	

(4) 平面図形

月	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
12	<ul style="list-style-type: none"> 角の二等分線、線分の垂直二等分線、垂線などの基本的な作図の方法を理解している。 平行移動、対称移動及び回転移動について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 図形の性質に着目し、基本的な作図の方法を考察し表現することができる。 図形の移動に着目し、二つの図形の関係について考察し表現することができる。 基本的な作図や図形の移動を具体的な場面で活用することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 平面図形の性質や関係を捉えることによさに気付いて粘り強く考え、平面図形について学んだことを生活や学習に生かそうとしたり、作図や図形の移動を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしていたりしている。

(5) 空間図形

月	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	<ul style="list-style-type: none"> 空間における直線や平面の位置関係を知っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 空間図形を直線や平面図形の運動によって構成されるものと捉えたり、空間図形を平面上に表現して平面上の表現から空間図形の性質を見いだしたりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 空間図形の性質や関係を捉えることによさに気付いて粘り強く考え、空間図形について学んだことを生活や学習に生かそうとしたり、空間図形の性質や関係を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしていたりしている。
2	<ul style="list-style-type: none"> 扇形の弧の長さや面積、基本的な柱体や錐体、球の表面積と体積を求めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 立体図形の表面積や体積の求め方を考察し表現することができる。 	

(6) 比例、反比例

月	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
10	<ul style="list-style-type: none"> 関数関係の意味を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 比例、反比例として捉えられる二つの数量について、表、式、グラフなどを用いて調べ、それらの変化や対応の特徴を見いだすことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 比例、反比例のよさに気付いて粘り強く考え、比例、反比例について学んだことを生活や学習に生かそうとしたり、比例、反比例を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしていたりしている。
11	<ul style="list-style-type: none"> 比例、反比例について理解している。 座標の意味を理解している。 比例、反比例を表、式、グラフなどに表すことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 比例、反比例を用いて具体的な事象を捉え考察し表現することができる。 	

(7) データの分布

月	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
3	<ul style="list-style-type: none"> ヒストグラムや相対度数などの必要性和意味を理解している。 コンピュータなどの情報手段を用いるなどしてデータを表やグラフに整理することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 目的に応じてデータを収集して分析し、そのデータの分布の傾向を読み取り、批判的に考察し判断することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ヒストグラムや相対度数などのよさに気付いて粘り強く考え、データの分布について学んだことを生活や学習に生かそうとしたり、ヒストグラムや相対度数などを活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしていたり、多面的に捉え考えようとしていたりしている。

(8) 不確定な事象の起こりやすさ

月	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
3	<ul style="list-style-type: none"> 多数の観察や多数回の試行によって得られる確率の必要性和意味を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 多数の観察や多数回の試行の結果を基にして、不確定な事象の起こりやすさの傾向を読み取り表現することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 多数の観察や多数回の試行によって得られる確率のよさに気付いて粘り強く考え、不確定な事象の起こりやすさについて学んだことを生活や学習に生かそうとしたり、多数の観察や多数回の試行によって得られる確率を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしていたりしている。

